

学校経営の概要

1 教育目標

憲法及び教育基本法の本質に則り、国及び県の教育施策を踏まえ、国際的視野を持ち、郷土の自然と文化に誇りをもつ、心豊かで、豊かな表現力・創造性・主体性に富んだ心身ともに健全な人材を育成する。

2 教育方針

- (1) 基礎学力・自主学習力を身につけ、目的意識を持ち、ねばり強く自己実現をめざし続ける生徒を育成する。
- (2) たくましく生きる力と体力を持ち、明朗で礼儀正しい基本的な生活習慣及び規範意識の確立した生徒を育成する。

3 経営方針

本校は昭和21年の創立以来、久米島唯一の高校として島の人材育成を担ってきました。ここ数十年は少子化による入学定員割れが続く園芸科の廃科問題に直面しています。この間、連携型中高一貫教育や町の支援による離島留学生受け入れ等の久米島高校魅力事業により本校教育活動の活性化に鋭意努力してまいりました。これからも、本校のミッションである次代を担い、社会で活躍できる人材育成に取り組み、保護者の願い・地域社会の信頼に応える魅力ある開かれた学校づくりを目指します。

- (1) 中高一貫及び魅力化事業との連携を図り、時代の変化に対応し社会で活躍できる人材を育成する。
- (2) 自ら学ぶ態度と確かな学力を育成し、カリキュラム・マネジメントを通してのキャリア教育の視点から生徒一人ひとりの自己実現を図る。
- (3) 規範意識や人権尊重の精神の育成に努め、すべての生徒が安全安心に生活できる学校づくりを推進する。
- (4) 教育活動全般を通して、自己肯定感や自己有用感を醸成し、学校生活の充実と帰属意識を高める。
- (5) 職員の資質能力の向上と健康保持、服務規律の確保及び働き方改革の推進を図る。
- (6) 大平特別支援学校高等部久米島分教室との連携を推進する。

4 本年度の努力目標

- (1) 中高一貫教育の充実
 - ① 連携型入試、合同教科研究会、中高合同行事、部活動等の研究を継続する。
 - ② 中高一貫教育の在り方について、町教育委員会及び島内2中学校との研究を推進する。
- (2) 久米島高校魅力化事業との連携
 - ① 離島留学委員会を通して離島留学制度の充実を図る。
 - ② 町営寮「じんぶん館」・町営塾「久米島学習センター」との連携を図る。
 - ③ 久米島町姉妹都市のハワイコナワエナ高校との交流を推進する。
 - ④ 県外学校説明会、オープンスクールを通して広報活動を推進する。
 - ⑤ 久米島高校の魅力化と発展を考える会との連携を図る。
- (3) 総合的な探究の時間の充実
 - ① 総合的な探究の時間を通して、地域学びの充実を図る。
 - ② 地域の人材等を活用し、将来の久米島や社会の在り方を積極的に学ぶ時間とする。
 - ③ 学年会と地域の諸団体との連携を強化し、自己実現に繋がる内容の充実を図る。
- (4) 生徒指導・教育相談の充実
 - ① 服装容儀やあいさつ等、ちゅらマナーアップと共に「その場指導の徹底」を図る。

- ② 勤怠指導（欠席、欠課、遅刻）を徹底し、基本的な生活習慣を確立する。
 - ③ 授業態度改善指導を徹底し、学習規律を確立する。
 - ④ 交通安全指導を徹底し、交通死亡事故0を継続する。
 - ⑤ 担任、学年団、教育相談との連携を密にしカウンセリングの充実を図る。
- (5) 学力向上の推進
- ① 家庭学習習慣の定着と自主学習力の育成を図る。
 - ② B I A プランを通して進路実現のための学力を育成する。
 - ③ I C T 機器を取り入れた「一人一台端末環境」での情報活用能力育成を推進する。
 - ④ 「朝の学習の時間」の充実に努める。
 - ⑤ 大学入試改革に対応した学習指導を推進する。
 - ⑥ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る教育課程を実践する。
 - ⑦ 観点別評価の確実な実施と改善を図る。
- (6) 進路指導の充実
- ① 体系的な指導体制を通して、確実な進路実現に繋げる。
 - ② 進路相談を充実させ早期進路決定に繋げる。
 - ③ 県内・県外大学への進学実績の向上を図る。
 - ④ 希望進路実現を支援する課外講座の充実を図る。
 - ⑤ 資格取得を奨励し、各種検定の合格実績の向上を図る。
 - ⑥ 就職率については 100 % を目指す。
 - ⑦ 県主催海外留学・海外短期研修を奨励し、グローバルマインドを育成する。
- (7) 特別活動の充実
- ① 学校行事（久米高祭・園芸祭・体育祭）、H R 活動、生徒会活動など、生徒の主体的な取り組みの充実を図る。
 - ② ボランティア活動など地域貢献活動を奨励する。
 - ③ 部活動・同好会活動を奨励し、各種大会、コンクールでの活躍を支援する。
 - ④ 適切な部活動の指導・運営及び相互点検が出来る体制整備を図る。
- (8) 教職員の資質向上の推進
- ① 教育のプロとしての自覚を持ち、研究授業、相互授業参観を通して授業力の向上及び相互研鑽の図れる環境作りに努める。
 - ② 教職員研修の充実を図る。
 - ③ ミドルリーダーを育成し、若手職員へのサポート体制の充実を図る。
- (9) 教育環境の充実
- ① 校内美化、校内緑化活動を推進する。
 - ② 各施設の適正使用と安全点検・安全管理の徹底と危険箇所の迅速修理を推進する。
- (10) 保護者・地域との連携
- ① P T A 総会、地域懇談会、夜間指導等の P T A 活動の充実を図る。
 - ② 授業参観や行事等を工夫し、保護者等が学校に足を運ぶ機会を増やす。
 - ③ 小・中学校・同窓会・町教育委員会・郷友会等との連携に努める。
 - ④ H P、「久米高通信」「F M くめじま」を通して、教育活動の発信に努める。
- (11) 職員が生き生きとやりがいを持って教育活動に取り組む環境づくりの推進
- ① 職員の負担軽減・業務改善を推進し、持続可能な学校指導・運営体制の構築を図る。
- (12) 公費・私費会計等の説明責任を果たす学校事務運営
- ① 適正な予算執行に伴う予算処理業務の確実かつ迅速な執行に努める。
 - ② 必要な情報提供に努め、透明性のある学校事務運営を果たす。

5 諸活動の数値目標

	項目	目標	前年度値		項目	目標	前年度値
1	進路決定率	90%以上	91.3%	6	成績優秀者数	80名以上	85名
2	国公立大合格者数	4名以上	4名	7	単位保留者数	10名以下	11名
3	部活動加入率	75%以上	70.0%	8	皆出席者	34名以上	34名
4	出席率	98%以上	96.8%	9	3ヶ年皆勤者数	3名以上	3名
5	中途退学者数	0名	3名	10	資格取得者数	のべ250名以上	322名

6 スクールポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

1. 育成を目指す生徒像

「向上無限」の精神で、多様化する社会の変化に対応し、主体的に学び続け、どんな環境下においても自己実現を図る生徒の育成を目指します。

2. 育成する生徒に求められる資質・能力（4つの校訓）

- (1) 誠実勤勉：真心や礼儀正しい規範意識をもって人や物事に対し、目的や目標に向かって計画的に学び続ける力
- (2) 自律協和：強い意志と主体性を持って問題や課題の解決に当たり、他者との対話を通じてお互いを認め合いながら協働出来る力
- (3) 忍耐持久：自己肯定感や自己有用感を醸成し、粘り強く自己実現を図る力
- (4) 剛健進取：たくましく生きる力と体力を持ち、自ら地域や社会の課題に気づき、根拠のある解決策を導き出す力

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

1. 中高一貫教育の充実を図り、連携型入試、合同教科研究会、部活動交流等の研究を推進する。
2. 久米島高校魅力化事業を大いに活用し、町営寮や町営塾との連携強化を図る。
3. 総合的な探究の時間を通して、計画的に地域人材を活用すると共に将来の久米島や社会の在り方を積極的に学ぶ機会を与える。
4. 習熟度別授業編成を国語・数学・英語・理科において実施し、家庭学習習慣の定着及び自主学習力の育成を図り、幅広い進路先に対応する。
5. 各教科・科目において、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践に取り組む。
6. ICT機器や校内Wi-Fiを積極的に活用した教育活動の推進を図る。
7. 学校行事（久米高祭・園芸祭・体育祭）やHR活動、生徒会活動などを通して自主的・主体的に活動し、問題解決が図れる資質能力を育成する。
8. ハワイとの交流事業や県主催の海外留学・海外短期研修事業を活用し、国際的な視野を持ったグローバルリーダーの育成を図る。
9. 特別な配慮を必要とする生徒への個々に応じた指導内容や指導方法を工夫検討し、誰一人取り残さない教育の充実を図る。（インクルーシブ教育の充実）

○アドミッション・ポリシー（入学者の受入に関する方針）

1. 基礎・基本を重視した学習に前向きに取り組み、「向上無限」の精神で何事にも主体的に取り組む生徒。
2. 地域の現状や課題に対し、他者と連携・協働しその解決に当たり、地域の活性化や起業に取り組もうとする生徒。
3. 本校での学びを通して、規範意識を高めると共に「思考力・判断力・表現力」を育もうとする生徒。